

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者） 旅行代理店（従業員）	販売量の動き 販売量の動き	・タバコのタスポ導入で、来客数・売上共に増えている。 ・6月は企業の親睦社内旅行、趣味団体の発表会・親睦旅行、企業の視察旅行などの団体旅行が順調であった。個人旅行もシルバー世代の仲間との旅行、家族旅行など7月から8月にかけての相談・予約が多かった。全般的に順調に推移し、昨年より売上は増加している。
	変わらない	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・中旬以降、エアコンの販売台数が、土日を中心に伸びてきているが、例年に比べて価格帯は低下している。それに対して冷蔵庫は大容量型が売れている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・国内販売低迷が続き、売れている実感はほとんどない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は週によってムラがあり、当月受注計画が思うように上らず、当月受注は前年を割り込んでいる。届出登録実績は先月の受注残により前年を上回っている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・宿泊客が増えない。地元の宴会や会議等の利用も旅館ではなく、安いところに流れている。ビジネスホテルや居酒屋との競争になっている。
	タクシー運転手	それ以外	・物価高により、経費節減のためタクシーに乗り控えている。ガソリン代が値上がりし、利用を期待していたが効果はない。	
	やや悪く なっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店への販売量が低調である。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数、売上共に前年同月を下回った。ファッション関連商品及びブランド商品群が苦戦した。また、宝飾、美術品等の高額商品も前年を割り込み総じて低調に推移した。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・前年実績を下回る売場が多く、中元ギフトも低迷している。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・ガソリンの高騰と多品種にわたる値上げにより、販売促進に苦慮している。競合店でもチラシ配布の頻度を増加したり、価格を下げたり、ポイントの倍率を増やしたりと方法に変化が出てきた。
		スーパー（企画担当）	それ以外	・製造メーカーの第二弾・第三弾の値上がりが発表されており、必要なもの以外の購入が控えられている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・青果、海産物の売上が前年より減少しており、惣菜が大きく伸びている。原材料から加工するよりは、出来ているものを購入するほうが経済的と考える人が増加している。果物のような二次的なものは減少傾向にある。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・土日の売上減少が顕著である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年6月は7月のバーゲンセールを控えて、買い控えの動きが顕著になるが、今年は中旬以降の動きが特に鈍い。月末に掛けて一部でプレセールも始まるが盛り上がり欠ける。
家電量販店（店長）		来客数の動き	・買上客数が前年に比べ、約5%低下している。競合店も、同じような状況だと聞いている。	
乗用車販売店（管理担当）		販売量の動き	・ボーナス月の影響が全く感じられない。	
一般レストラン（経営者）		来客数の動き	・5月の連休明けに、15年ほど続けてきた安いランチだけを1割程度値上げした。1か月ほど経った状態で、15%から20%の売上減である。来客数も減少した。	
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・売上高、来客数に大きな動きはないが、値上げによる単価の上昇により買上点数が悪化している。特に雑貨や衣料品が大きく下回っている。		
タクシー運転手	来客数の動き	・物価高の影響でタクシーに乗るのを控え、利用客が減っている。		

		タクシー運転手	単価の動き	・例年6月は株主総会等があって人の動きがあるものだが、今年は少なかった。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・前月に比べ契約件数が落ちている。成約価格も安価なものになっている。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・6月上旬に夏モデルの主力商品が出揃ったものの、6月下旬はその反動等によりやや停滞感があり、店舗の来店者数も下降気味である。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・前年よりも来客数が減っている。個人客についても前年より減ってきている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前年と比べ、来客数が非常に伸び悩んでいる。
		設計事務所（所長）	それ以外	・首都圏から地方に不動産を買いに来ていたファンド等の動きが、パタリと止まった。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・同業の中堅どころの倒産が今月2件あった。価格競争が一段と激化しており、赤字覚悟の仕事量の確保が顕在化してきている。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・全般的に来街者数が減っており、売上減少につながっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・例年5月、6月は、新築や店舗移転などで、お祝いの鉢植えが結構出るが、従来だと1万円前後がよく売れていたが、最近は単価が下がって、5,000円前後に移行している。高額商品が少し売りづらくなっている。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・販売の低迷、仕入価格の上昇、経費の増大という三重苦にある。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・店頭での値上げ及び取引料飲店との値上げ交渉は一段落したが、販売量が更にギリ貧になっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・値上げした食料品は売れなくなった。土日にイベントで北海道フェアをしても以前ほどの売上はない。余分な物は買わなくなった。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・いよいよ原油高、原料高の家庭への影響が大きくなってきて、実質所得が目減りが、コンビニエンスストアの売場でも実感できるようになってきた。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	お客様の様子	・物価上昇、ガソリン単価高騰などによる家計の圧迫が外食産業にとっては一番の打撃になっている。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・民間工事で、工場増設の引き合いが増えており、まとまった規模の受注が獲得できた。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・中国産冷凍ギョウザ問題以降、冷凍食品への信頼が回復しておらず需要が伸びない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が全く伸びない上、仕事そのものが少ない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	それ以外	・重油価格の上昇に伴い、パルプや薬品、加工資材の値上がり感が急激で、単価がそれに追いついていけないため、採算が悪い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備関連の提案書や企画書がなかなか決まらない。先延ばしされるならいいが、即「出来ない」というような返事がくる。電気機器、電力関係、化学関係、いろいろな会社が同じようなパターンであり、企業は設備投資を抑えている感がある。
		輸送業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・顧客サイドの物流合理化に拍車がかかり、受注機会、単価が下げ止まらない。
通信業（営業担当）		それ以外	・大型量販店、スーパーのマネージャー等との会話で、「ボーナスサンデーに期待し、人員体制、目玉商品などを準備したが、売上高は通常の週末と比べ大きな差はなかった」「地デジ商品など“旬”の商品も爆発的に売れていると言えない」「消費に対して慎重になっている」というような愚痴を聞く事が多い。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先のマグロ業者から聞いたところでは、燃料高騰で台湾等からのマグロ漁船の出船が取りやめになっていて、仕入単価が急激に上昇しているという状況である。	

		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格の高騰を受けた資材価格の上昇が本格的になった。用紙メーカーの値上げが市場に反映されるのも時間の問題となる。また、それ以外の資材については、価格上昇前の在庫が市場から無くなりつつあり、ほとんどの石油関連資材は価格が上昇している。しかし、販売価格に直接結び付かない。
		公認会計士	取引先の様子	・6月の各企業の決算書、あるいは月次の試算表等を見ると、前年比でも一段と悪化している企業がほとんどである。
	悪くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンチャーター業界の稼働状況は悪化している。チャーター料金の改善も進まず、ユーザーの経営内容悪化で購入マインドは低下している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・学生への求人数が確実に増加している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・5月の新メディアの発刊で受注が好調だったが、実際の採用が予想以上にできていることと、競合誌の反撃キャンペーンで、求人ニーズは現在横ばいとなっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・派遣利用の積極性がなくなっている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・昨年と比べて、紹介数は10%程度の増加が見られるものの、就職数は逆に10%ほど減少している。企業の求める人材と応募者とのミスマッチが増加しており、また、求職者数自体は減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月の有効求人倍率は、3か月前より0.11ポイント下回り、0.68倍となった。
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・業種間で差はあるが、登録者の中で退職理由が企業のリストラにより退職する例と企業倒産でやむなく退職している例が増えてきている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新聞の求人広告が前年同期に比べ70%以下になっている。新店舗等のオープン広告もほとんど見当たらない。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・管内新規求人は1,959人で、前年比25.4%減、676人減少した。サービス業、卸・小売業の減少が大きく、それ以外でも、医療以外はおおむね減少を続けている。	